



そこに学びたい人がある

話してみるものである。子ども主体の学習づくりに悩み、子どもの思いや願いを見取る難しさに、意気投合する。会えば、教育を語り、研修会で得た情報を提供し合う。一人で悩むのは辛いものであるが、お互いの悩みを共有しながら、少しでも、その悩みを共に解決する仲間がいるほど嬉しいことはない。

それが、インフォーマルな場であってもいい。学びたいと思っている人と一緒に考えることを大切にしたいと考える。

自主研修会からの小さな Movement

最近、「学び」という言葉が広く使われ始めたが、無意識に使っていないだろうか？ 学力低下の対応を、訓練的な学習スタイルに求めようとしていないだろうか？ 少し不安になっている。

子ども自らが、自分にとって価値あるものにかかわり続けていく営みを「学び」ととらえ、子どもの学びについて、今、考えておく必要がある。また、子どもたちと共に「学び」を創っていくための考え方や具体的な方法などを、多くの先生方との交流を通して、少しずつ明らかにしていきたいと思っている。このような思いや考えのもとに6月25日に立ち上げたのが、「子どもの学びを創る会」である。

無理をせず、先生方からのニーズを中心に、「話題提供」や「何でもトーク」などを通して、子どもの学びについて語り合う場にしたいと考えている。この自主研修会での学び合いが、子どもの学びへ還元・貢献できることを期待している。

(芝)



ふるさとの海に学ぶ